

全国学力調査までのスケジュール ～課題の克服・改善を確実に～

先日の教科主任会では、全国学力調査までの各教科の修正版スケジュールを共有しました。「どの課題をいつ補うのか」「いつ・どこで・何を検証するのか」などについてより具体的にし、より活用できるものに再検討をお伝えしていたところ、各教科で様々な工夫がされていました。その工夫点を紹介します。

- 国語**：スケジュールの上に、課題を明記（それぞれに番号を振る）。どの単元でどの番号の課題をより意識して、どのように取り組むかを明記。宿題も課題を明記。マスターシートも活用。
- 社会**：毎週金曜日に答えなしの重要語句プリントを配付。月曜日に答えを配付し、○付けをして再提出（1つの宿題を2サイクル回すことで基礎基本の定着を図る）。授業の中で重要語句のテストを実施。
- 数学**：いつのステップタイムでテストを行うかを明記。宿題やステップではどの内容をいつ、何を使って行うかを明記。課題の補充をいつの授業や宿題で行うかを明記。マスターシートも活用。
- 理科**：どの授業でどの課題を意識するかを明記。マスターシートを使う週と内容を明記。マスターシートは授業はじめの5分で活用し、課題のあった内容を中心に実施。週2回の宿題の内容を明記。県版調査で課題が大きかった内容から順番にスケジュールに入れている。

英語：宿題やステップではどの内容をいつ、何を使って行うかを明記。課題の英作文と長文読解に取り組む頻度を多く設定。確認テストやこれ単テストの日を明記。ステップ・宿題・テストのサイクルを明記。宿題の出し方や、宿題と授業の関係等を教科メンバーで確認できるように明記。

教科会で
確認をお願い
したいこと ①

- 各教科の取組や工夫点をスケジュール表をもとに共有してください。
- 毎週の教科会などでこのスケジュールを確認し、実践していきましょう。
- 生徒の定着状況等を見ながら次の週や次の月などの加筆修正をし、課題を確実に克服・改善していきましょう。

各教科の授業改善&学力の向上・定着の取組

各教科の「付きたい力」「目指す授業」

県版調査後の各教科の取組

各教科 40点未満の
生徒への手立て

教科会で
確認をお願い
したいこと ②

各教科で決めたこの3つの取組が意識されているか、実施されているかを時々振り返り、教科会全員で授業改善、生徒の学力の向上・定着を図っていきましょう。

※各教科の「付きたい力」「目指す授業」については裏面に掲載しています。

